



# Design

## ～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外25号です。表面は、“彩り”と老健やましろの連携についての報告です。裏面は、地域の皆様からのご意見・ご要望と7月の問い合わせの実績の報告です。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

### この地域を支えたいです

#### ～ “彩り” と老健やましろの情報共有を促進しています ～

今年4月より、週2回程度、老健やましろに出向き、老健やましろと情報共有を行いながら、地域包括ケア病棟“彩り”と老健やましろ（入所・ショートステイ、通所）が、どのようにしたら地域を支えていけるのか模索しています。これまでにしたこと（又は、現在検討していること）を以下にまとめます。

\*

#### ① 老健やましろの通所リハビリの体験利用を開始

以前より地域のケアマネジャーの方から要望がありました。まずは体験利用を通じて、通所リハビリを知って頂きたいと思っています。

#### ② 老健やましろショートステイの利用促進

“彩り”に入院相談を頂戴した患者さんのうち、環境などの面から老健やましろショートステイ利用の方が望ましいと思われる場合には、老健やましろショートステイ利用を提案させて頂いています。

#### ③ 地域包括ケア病棟“彩り”の入院費用早見表の作成

4月に実施した研修会の中で要望がありましたので、作成しました。皆様のところにお伺いする際、お渡しさせて頂いています。

#### ④ 地域包括ケア病棟“彩り”から老健やましろへの適切な紹介

必要に応じて、“彩り”のNsと老健やましろのNsが直接、やり取りし、情報共有を行っています。

#### ⑤ 相談窓口の一本化（明確化）（現在、検討中）

地域の皆様に、より相談して頂きやすくするため、相談窓口を一本化（明確化）したいと考えています。現在、チラシを作成中です。

\*

引き続き、“彩り”と老健やましろの連携を強化していきたいと思っています。ご要望などがありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。よろしくお願い致します。

（地域医療連携室 室長 南出 弦）

## 地域の皆様から頂戴したご意見・ご要望について その⑨

地域のケアマネジャーの皆様や訪問看護ステーションの皆様のところへ訪問させて頂いた際、頂戴したご意見・ご要望と改善策をお知らせします。

**山城医療センターに受診したことがなくても、地域包括ケア病棟“彩り”に入院できますか。**

(ケアマネジャー)

当院を受診したことがない患者さんでも、もちろん入院は可能です。受診されたことがない場合、患者様の情報がありませんので、いつも以上に医療や介護に関する聞き取りをさせて頂くかもしれません。患者様に安心してご利用頂けるよう、情報提供にご協力をお願い致します。

(地域医療連携室 主任 中嶋 庸介)

## 問い合わせ先

～ お気軽にお問い合わせ下さい ～

地域包括ケア病棟“彩り”へのご入院、老健やましろへの入所、ショートステイ、通所リハビリテーションのご利用は、以下までお問い合わせ下さい。

○ 地域包括ケア病棟“彩り” 0774-73-1818

○ 老健やましろ（入所・ショートステイ・通所リハビリ） 0774-73-0359

※ 病状やご希望される入院（入所）期間などを考慮し、“彩り”か、老健やましろで対応させていただきます。お気軽にお問い合わせ下さい。

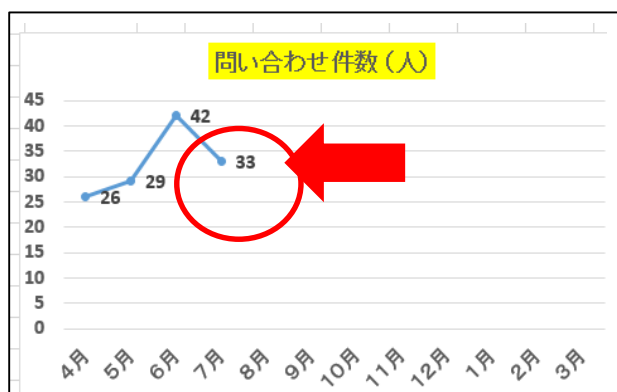
## 地域医療連携室より

～ 7月の問い合わせの実績です ～

日頃は、地域包括ケア病棟“彩り”に患者さんをご紹介頂き、ありがとうございます。地域の皆様からの、7月の問い合わせ件数を報告させていただきます（左下図をご参照下さい）。

問い合わせ元は、今年度4月～7月までのデータですが、約12%が地域の診療所の先生方から、約40%が地域のケアマネジャーの皆様から、約48%がその他（ご家族・他病院など）から、となっています。また、右下図に受け入れ可能な一例を挙げています。もちろん、記載例以外でも受け入れをさせて頂いています。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

(地域医療連携室 室長 南出 弦)



### <受け入れ可能な例(一部)>

- ・主介護者が入院となり、介護者が不在となる。
- ・他病院で入院。自宅に戻る環境整備のため、受け入れして欲しい。
- ・褥創の処置が必要。入院し、経過を診て欲しい。
- ・透析患者。介護施設では受け入れしてもらえない。
- ・圧迫骨折。しばらく入院させて欲しい。